

# 2026年3月期期末 決算説明資料

Fiscal Year Ending March, 2026  
Financial Results

2026年5月15日  
株式会社エフテック  
証券コード：7212



「エフテック」で検索  
<https://www.ftech.co.jp>

# 1 決算概要

Financial Summary

# 2 業績予想

Earnings Forecast

# 3 15次中計総括

15<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

# 4 16次中計概要

16<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

# 1 決算概要

Financial Summary

# 2 業績予想

Earnings Forecast

# 3 15次中計総括

15<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

# 4 16次中計概要

16<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

# 連結決算概要（前年同期比）

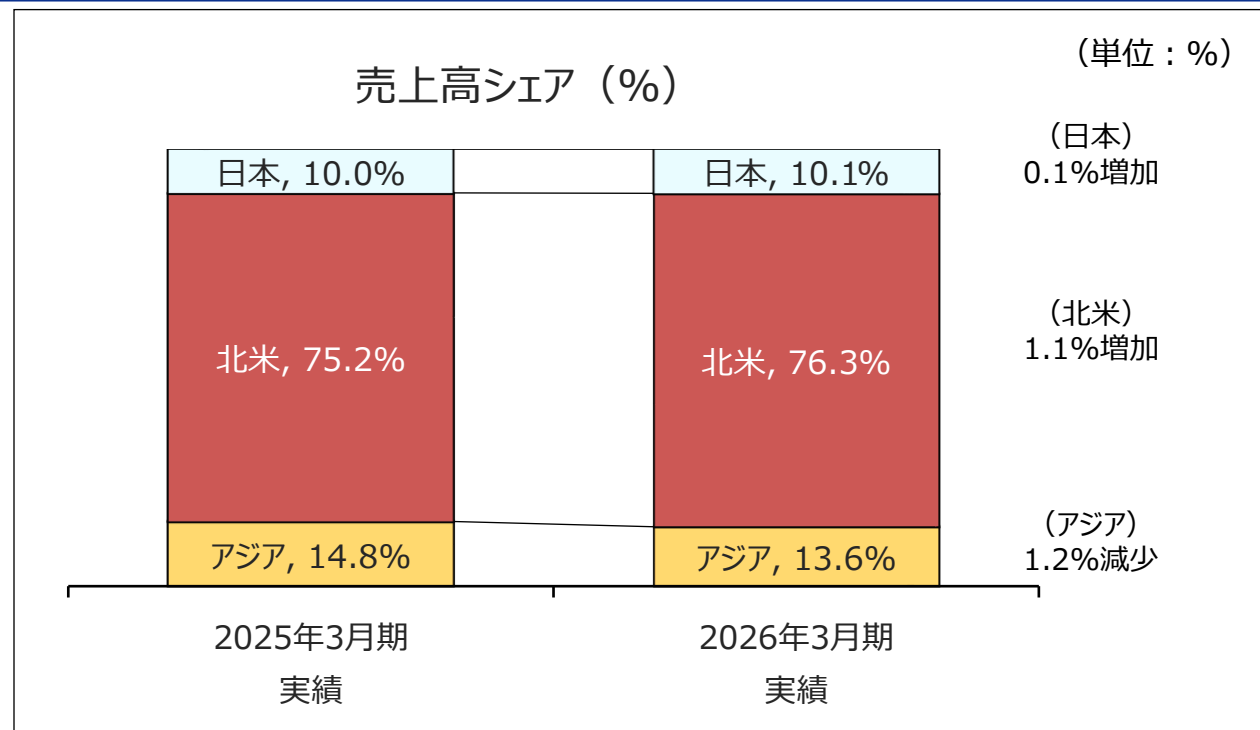
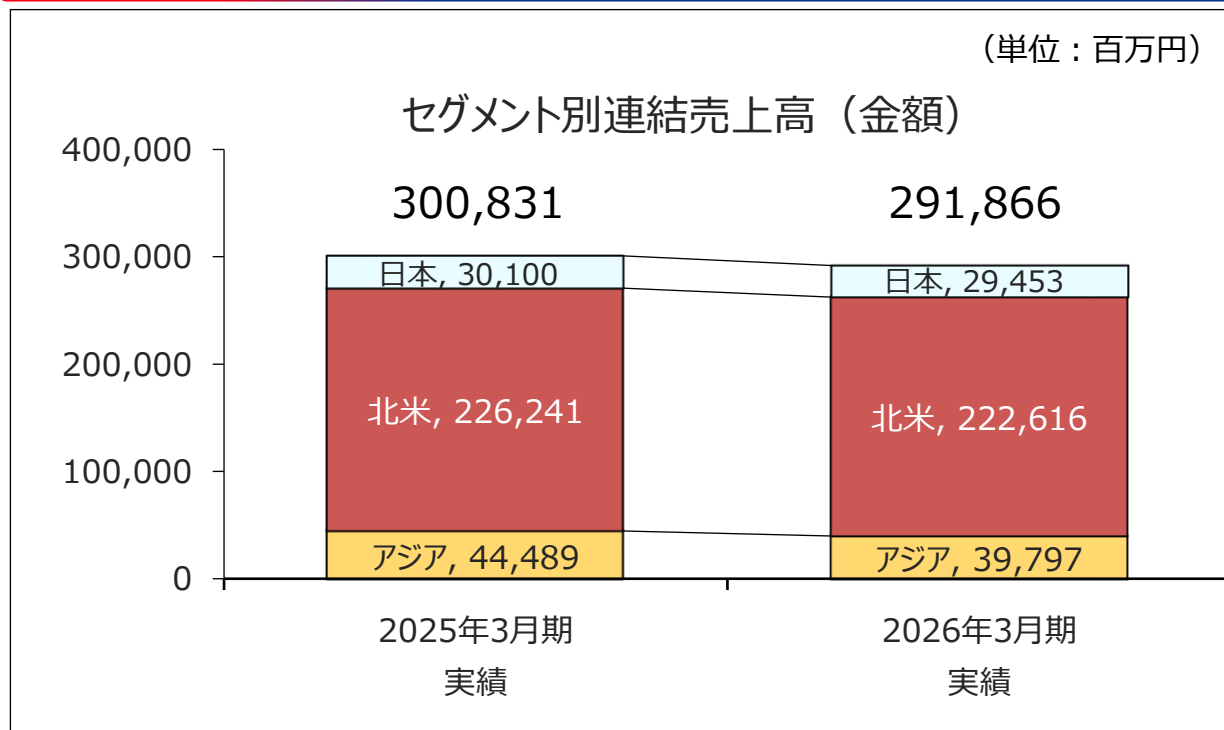
（単位：百万円）

	2025年3月期 実績		2026年3月期 実績		増減	
売上高	300,831	100.0%	291,866	100.0%	▲8,965	▲3.0%
営業利益	5,481	1.8%	8,405	2.9%	2,924	53.3%
経常利益	3,047	1.0%	7,495	2.6%	4,448	146.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲6,925	▲2.3%	4,726	1.6%	11,651	—
1株利益(円)	▲372.97	—	254.50	—	627.47	—

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減
1 US\$	152.61円	151.10円	▲1.51円
1 CAN\$	109.36円	109.45円	0.09円
1 人民元	21.131円	20.876円	▲0.255円

減収増益、増益は中国の構造改革効果

# 連結売上高（前年同期比）



	2025年3月期	2026年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	30,100	29,453	▲647	▲2.2%	—	▲647	▲2.2%
北米	226,241	222,616	▲3,625	▲1.6%	▲1,703	▲1,922	▲0.8%
アジア	44,489	39,797	▲4,692	▲10.5%	▲232	▲4,460	▲10.0%
連結	300,831	291,866	▲8,965	▲3.0%	▲1,935	▲7,030	▲2.3%

北米での半導体供給不足及び中国での減産により、減収

# セグメント別営業利益（前年同期比）

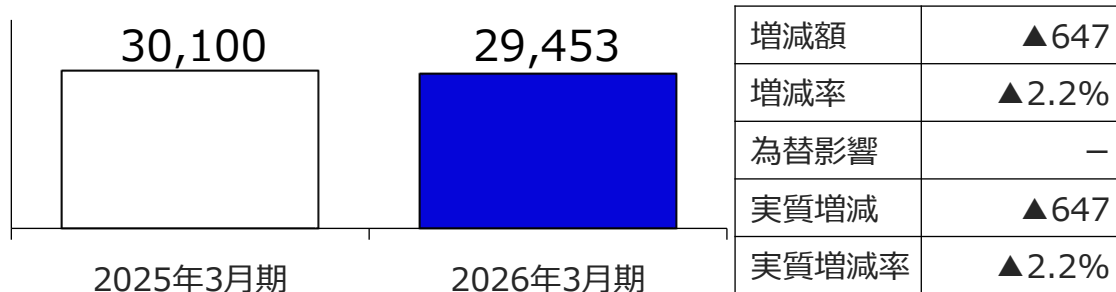
（単位：百万円）

	2025年 3月期 実績	2026年 3月期 実績	増減		為替影響	実質増減	
			金額	増減率(%)		金額	増減率(%)
日本	▲1,093	618	1,712	—	—	1,712	—
北米	8,024	5,938	▲2,086	▲26.0%	▲81	▲2,005	▲26.0%
アジア	▲1,609	1,665	3,275	—	0	3,275	—
合計	5,321	8,222	2,901	54.5%	▲81	2,982	54.5%
調整	160	183	22	14.2%	—	22	13.8%
連結	5,481	8,405	2,924	53.3%	▲81	3,005	53.3%

全セグメントで黒字化

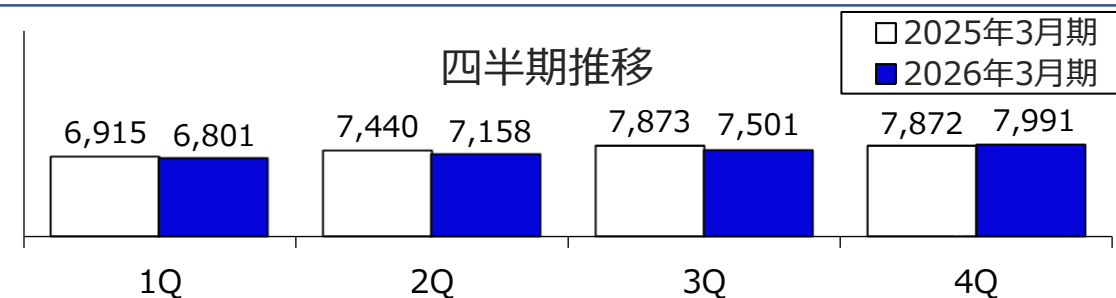
# セグメント別連結業績（日本）

## 売上高



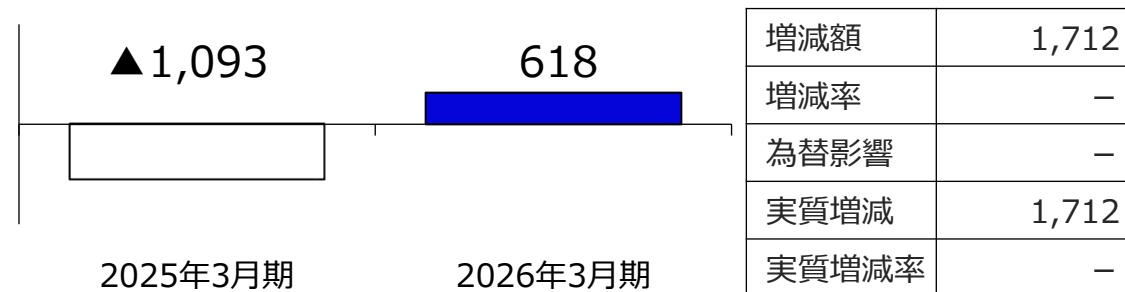
増減理由		
1	製品売上減少	▲2,392
2	商品売上増加（Gr向け金型設備売上）	2,007
3	技術収入売上増加（ロイヤリティー、開発費、他）	1,095
4	国内子会社売上減少	▲502
5	内部消去	▲855
合計		▲647

## 四半期推移



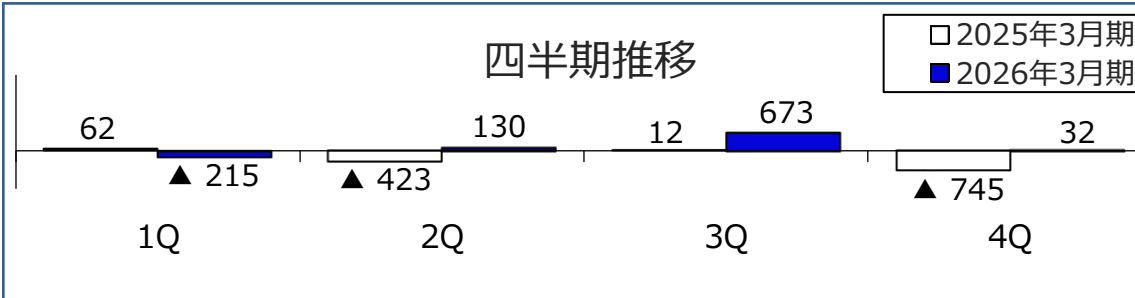
## 営業利益

（単位：百万円）



増減理由		
1	製品売上減少影響	▲399
2	商品売上増加影響	377
3	技術収入売上増加影響	1,047
4	国内子会社減少影響	▲53
5	販管費減少	740
合計		1,712

## 四半期推移

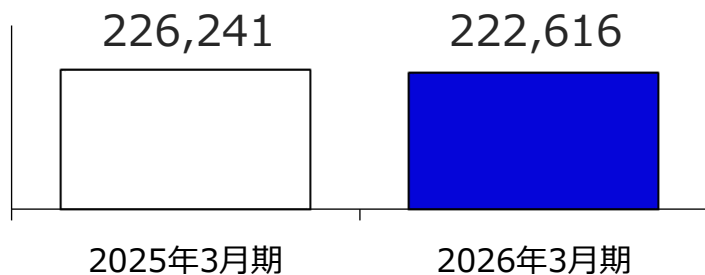


製品売上減少も海外Gr向け金型設備、ロイヤリティー売上増加、及び販管費減少により増益

# セグメント別連結業績（北米）

(単位：百万円)

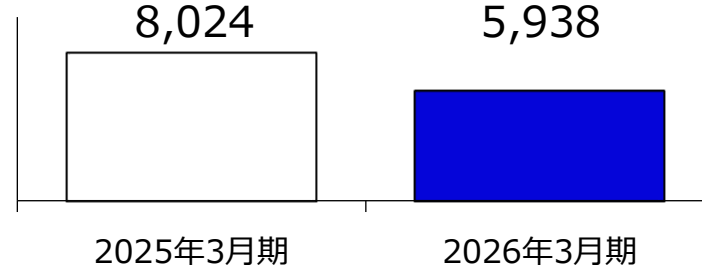
## 売上高



増減額	▲3,625
増減率	▲1.6%
為替影響	▲1,703
実質増減	▲1,922
実質増減率	▲0.8%

増減理由		
1	製品売上増減	▲6,116
2	商品売上増減	4,194
3	為替影響 (USD 152.61⇒151.10 1.51円高)	▲1,703
	合計	▲3,625

## 営業利益

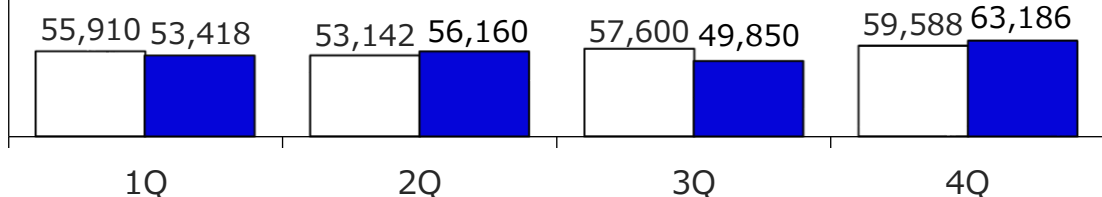


増減額	▲2,086
増減率	▲26.0%
為替影響	▲81
実質増減	▲2,005
実質増減率	▲26.0%

増減理由		
1	製品売上増減影響	▲3,706
2	商品売上増減影響	1,187
3	原価改善	514
4	為替影響	▲81
	合計	▲2,086

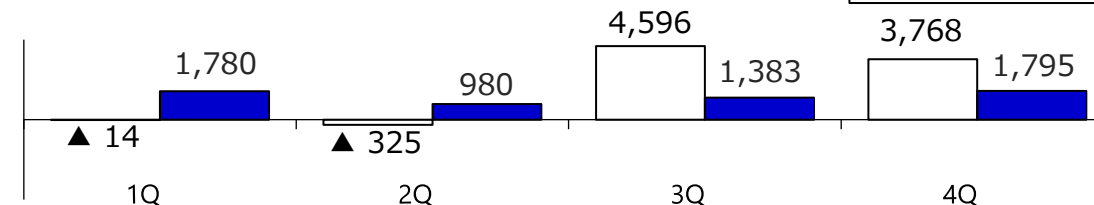
## 四半期推移

□ 2025年3月期  
■ 2026年3月期



## 四半期推移

□ 2025年3月期  
■ 2026年3月期



半導体供給不足による減産影響で大幅減益

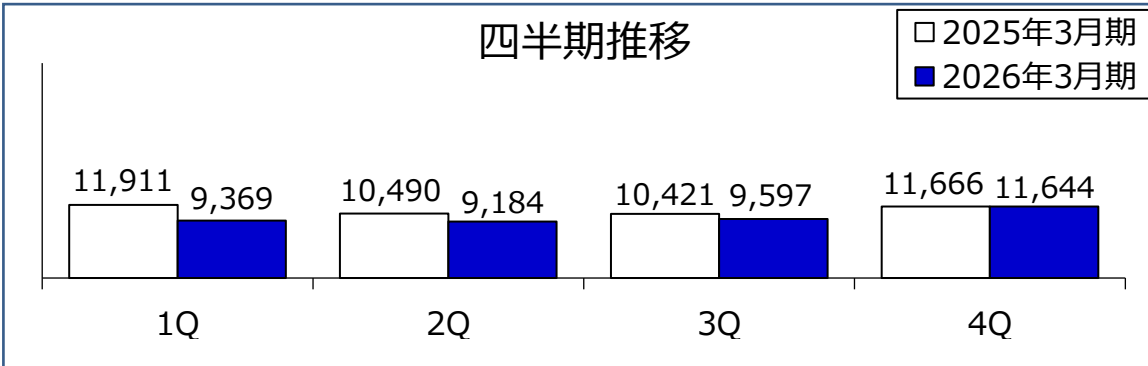
# セグメント別連結業績（アジア）

## 売上高



増減理由		
1	中国地域の増減	▲4,238
2	ア大地域の増減	▲221
3	為替換算影響	▲232
合計		▲4,692

## 四半期推移



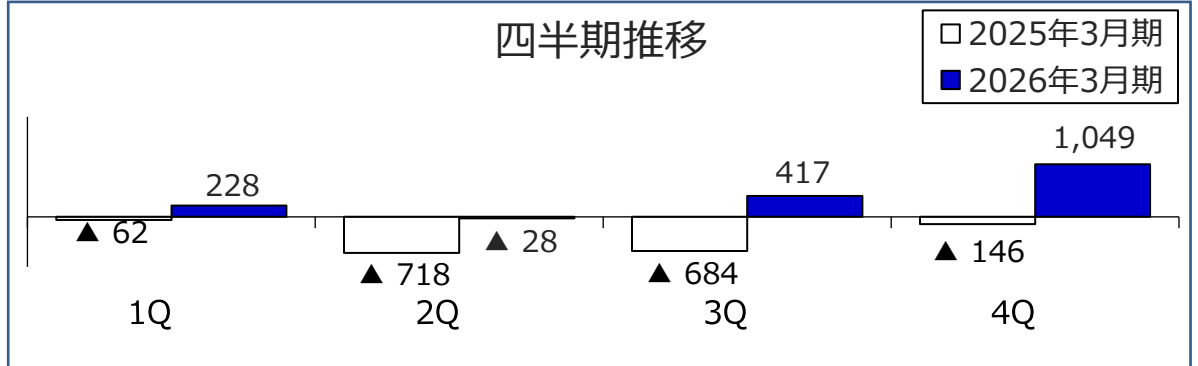
(単位：百万円)

## 営業利益



増減理由		
1	中国 製品売上減少影響	▲701
2	ア大 製品・商品売上増減影響	943
3	中国 構造改革効果	3,033
4	為替影響	0
合計		3,275

## 四半期推移



中国は生産台数が減少を続けるも前期の構造改革効果で増益。アジア地域は好転

## 1 決算概要

Financial Summary

## 2 業績予想

Earnings Forecast

## 3 15次中計総括

15<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

## 4 16次中計概要

16<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

# 連結業績予想（前年同期比）

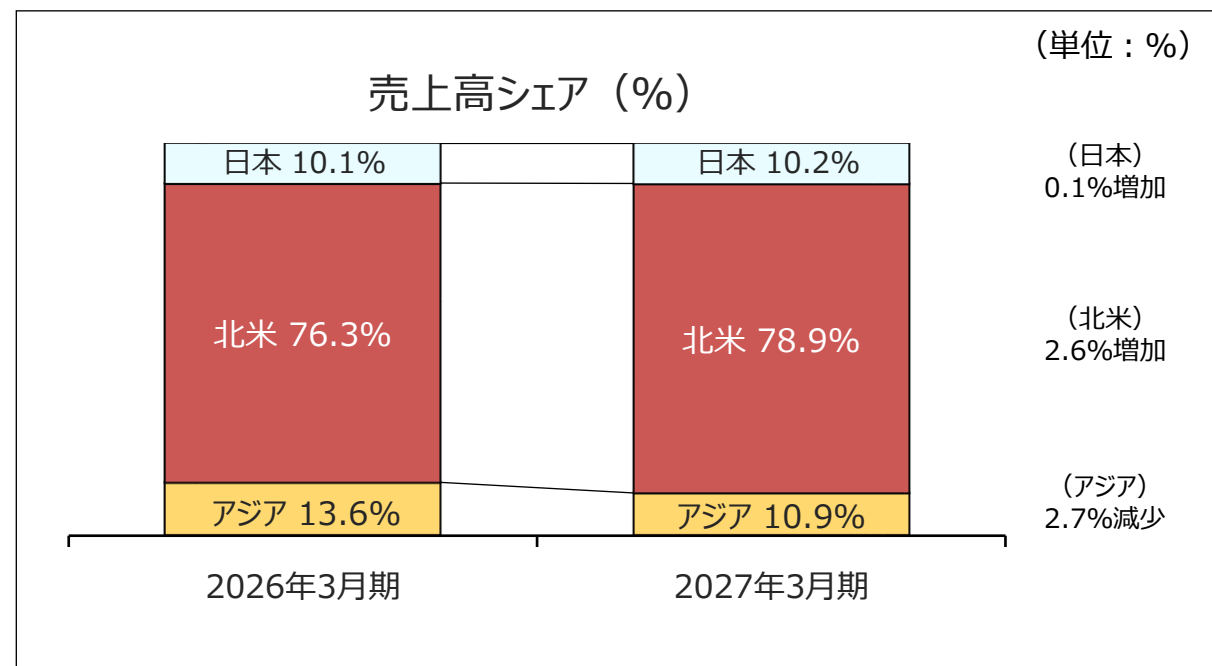
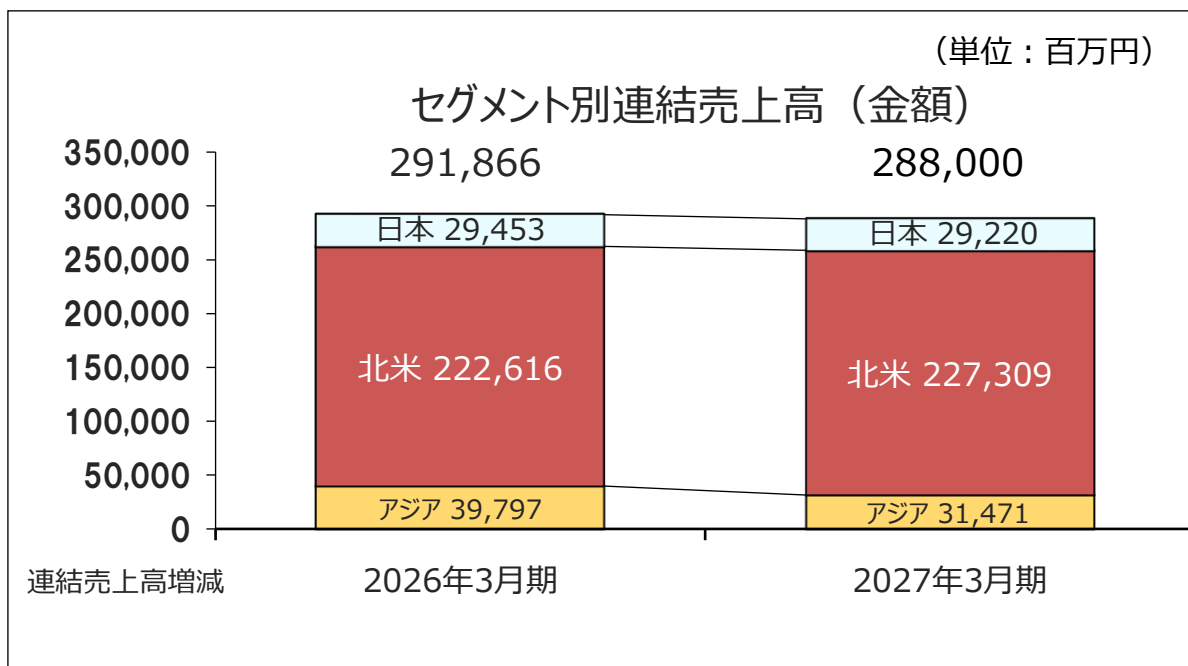
（単位：百万円）

	2026年3月期 実績		2027年3月期 予想		増減	
売上高	291,866	100.0%	288,000	100.0%	▲3,866	▲1.3%
営業利益	8,405	2.9%	5,500	1.9%	▲2,905	▲34.6%
経常利益	7,495	2.6%	4,100	1.4%	▲3,395	▲45.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,726	1.6%	800	0.3%	▲3,926	▲83.1%
1株利益(円)	254.50	—	43.07	—	▲211.43	▲83.1%

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減
1 US\$	151.10円	150.00円	▲1.10円
1 CAN\$	109.45円	110.00円	0.55円
1 人民元	20.876円	21.000円	0.124円

主要得意先のBEVの中止影響もあり、減収減益

# 連結売上高（前年同期比）



	2026年3月期	2027年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	29,453	29,220	▲233	▲0.8%	—	▲233	▲0.8%
北米	222,616	227,308	4,692	2.1%	▲320	5,012	2.3%
アジア	39,797	31,471	▲8,326	▲20.9%	303	▲8,629	▲21.7%
連結	291,866	288,000	▲3,866	▲1.3%	▲17	▲3,849	▲1.3%

北米は増収であるものの、アジアは大幅な減収

# セグメント別営業利益（前年同期比）

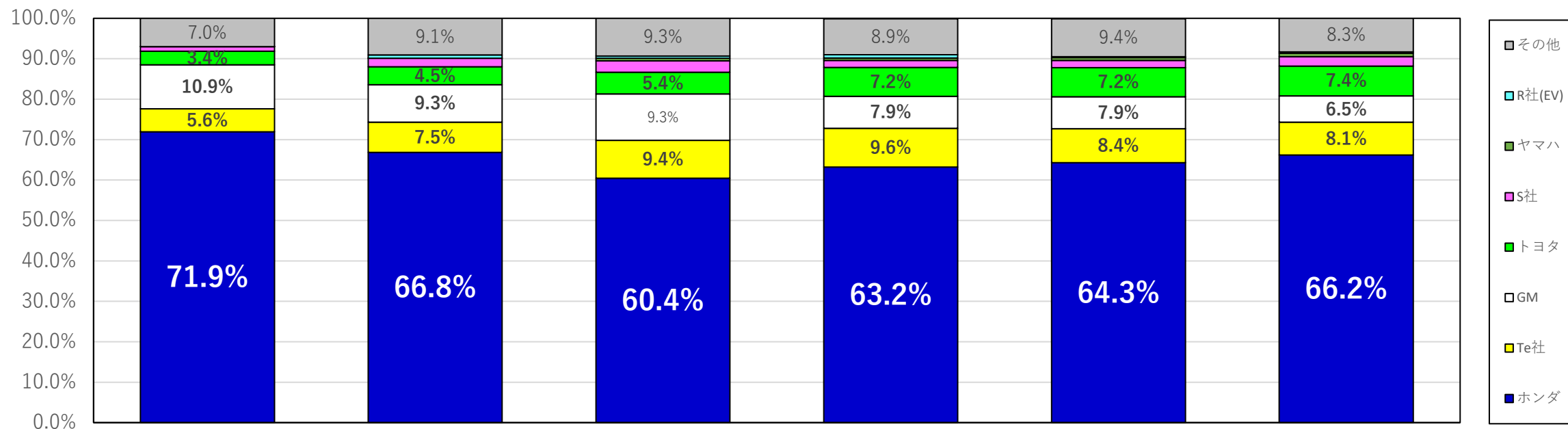
（単位：百万円）

	2026年 3月期 実績	2027年 3月期 予想	増減		為替影響	実質増減	
			金額	増減率(%)		金額	増減率(%)
日本	618	509	▲109	▲17.6%	—	▲109	▲17.6%
北米	5,938	4,818	▲1,120	▲18.9%	3	▲1,123	▲18.9%
アジア	1,665	76	▲1,589	▲95.4%	5	▲1,594	▲95.4%
合計	8,222	5,404	▲2,818	▲34.3%	8	▲2,826	▲34.3%
調整	183	97	▲86	▲47.0%	—	▲86	▲47.0%
連結	8,405	5,500	▲2,904	▲34.6%	8	▲2,913	▲34.6%

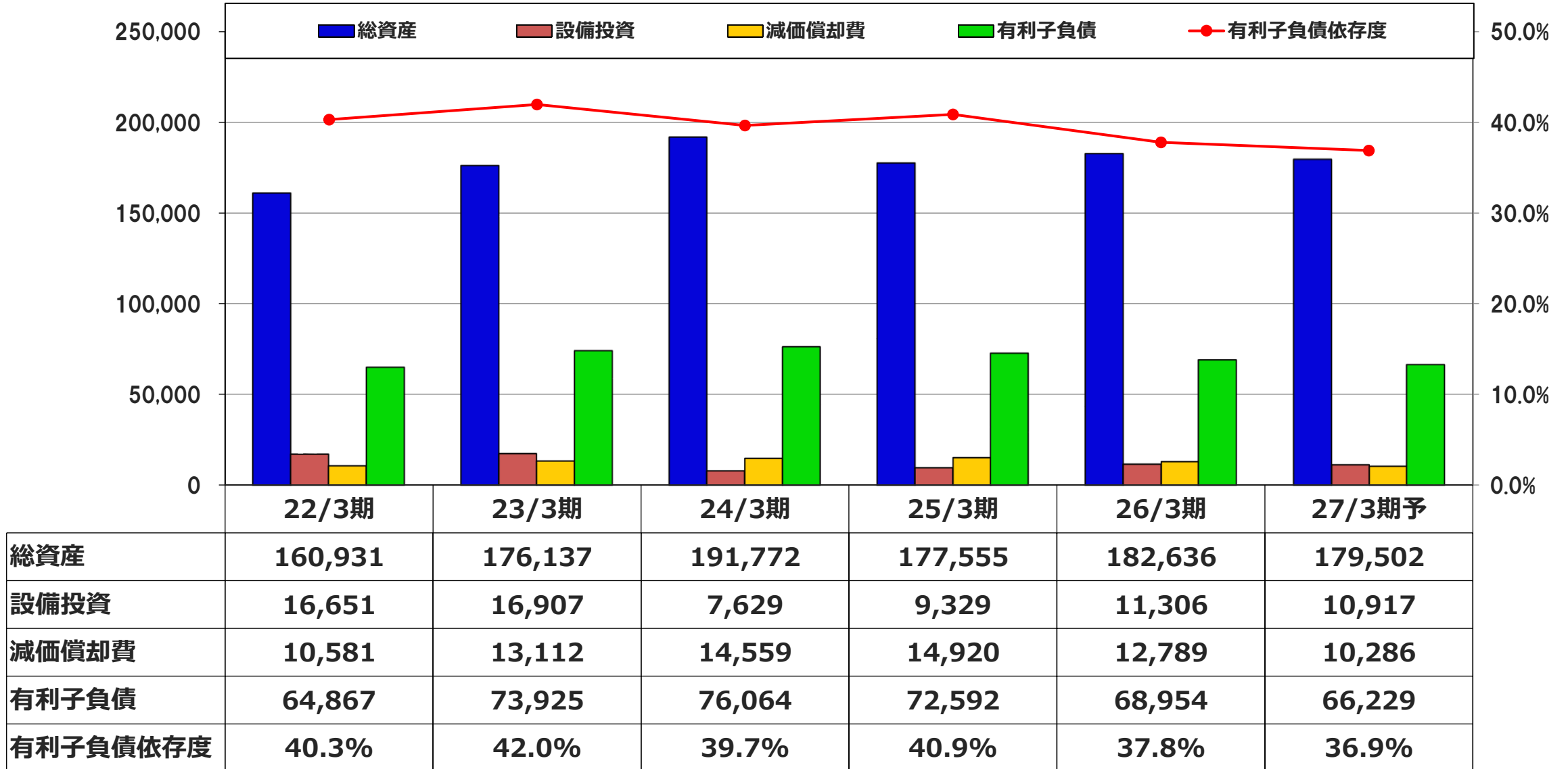
北米はBEVの減産や一過性利益の剥落により減益、アジアは主要得意先の減産により減益。

# 得意先別売上高の推移

(単位：百万円)



	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期 予算
ホンダ	128,269	157,846	182,244	190,166	187,720	190,581
Te社	14,317	24,549	28,590	28,778	24,473	23,421
GM	17,791	29,900	29,954	24,280	22,935	18,722
トヨタ	8,563	14,033	21,440	21,531	20,994	21,410
S社	4,002	7,369	8,097	4,956	5,373	6,586
ヤマハ	18	1,607	1,768	1,972	2,163	2,591
R社(EV)	1,526	1,500	808	2,523	669	878
その他	17,406	24,351	25,860	26,626	27,540	23,811
	<b>191,892</b>	<b>261,156</b>	<b>298,759</b>	<b>300,832</b>	<b>291,866</b>	<b>288,000</b>



# 配当金の状況



## 配当方針

当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。

株主の皆様への還元を重要視しており、財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。

2026年3月期の1株当たり期末配当につきましては、この基本方針に基づき、2026年3月期の通期業績予想の上方修正を踏まえた結果、前回予想から4円増配し、14円に修正いたします。

## 1 決算概要

Financial Summary

## 2 業績予想

Earnings Forecast

## 3 15次中計総括

**15<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary**

## 4 16次中計概要

16<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

成長

全社方針

稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

第16次中期経営計画  
(FY26-FY28)

15次中期のKPI

## Challenge for New

- 戦略的な成長ビジネス機会の追求
  - 戦略的な営業活動による付加価値拡大
  - EV商権の拡大
  - 開発効率の最大化
  - 新技術の確立
- サステナビリティ経営の構築
  - ESG経営への取り組み強化
  - カーボンニュートラルの実現へ向けた推進
  - ステークホルダーからの評価向上

成長投資

モノづくりの本質追求

## Back to Basics

- 稼ぐ力の強化
  - 課題拠点へのエフテック一体サポート展開
  - 競争優位性の強化による収益向上
  - 従業員エンゲージメントの向上
  - エフテックファミリーで活躍できる人財の育成
- 財務体質の健全化
  - 14中計投資による成果の創出
  - 投資の抑制
  - 収支モニタリング体制の強化

稼ぐ力

指標 (億円)	24年 3月期	25年 3月期	26年 3月期
売上高	2,870	2,980	3,000
営業利益	56	70	80
営業利益率	2.0%	2.3%	2.7%
Net Debt / EBITDA倍率	3.6倍 以下	3.2倍 以下	3.1倍 以下
EPS	80円 以上	100円 以上	175円 以上

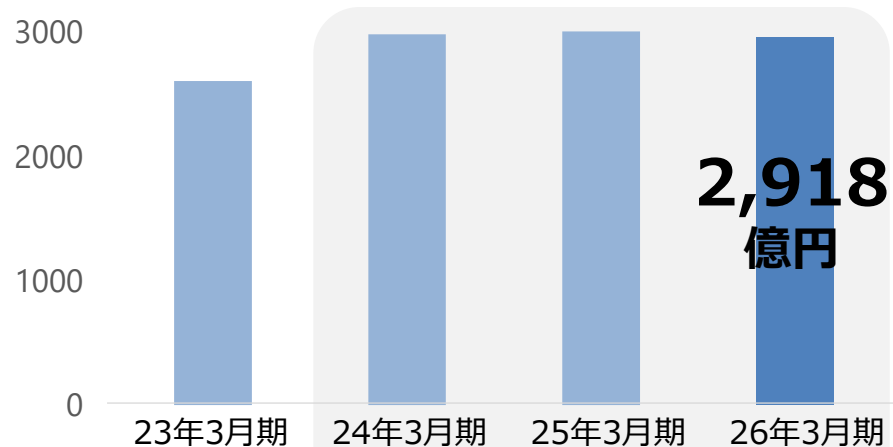
# 15次中計(2023/4~2026/3)の達成状況

- 主要得意先の生産数に合わせた構造・体質改革や各種改善活動により、15次中期経営計画の目標を達成

	2023年3月期		2026年3月期	
	実績		最終年度目標	実績
売上高	2,611億円		3,000億円	<b>2,918億円</b>
営業利益	20億円		80億円	<b>84億円</b>
営業利益率	0.7%		2.7%	<b>2.9%</b>
Net Debt / EBITDA倍率			3.1倍以下	<b>2.37倍</b>
EPS	93円		175円以上	<b>254.50円</b>

# 15次中計(2023/4~2026/3)の業績推移

連結売上高 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)

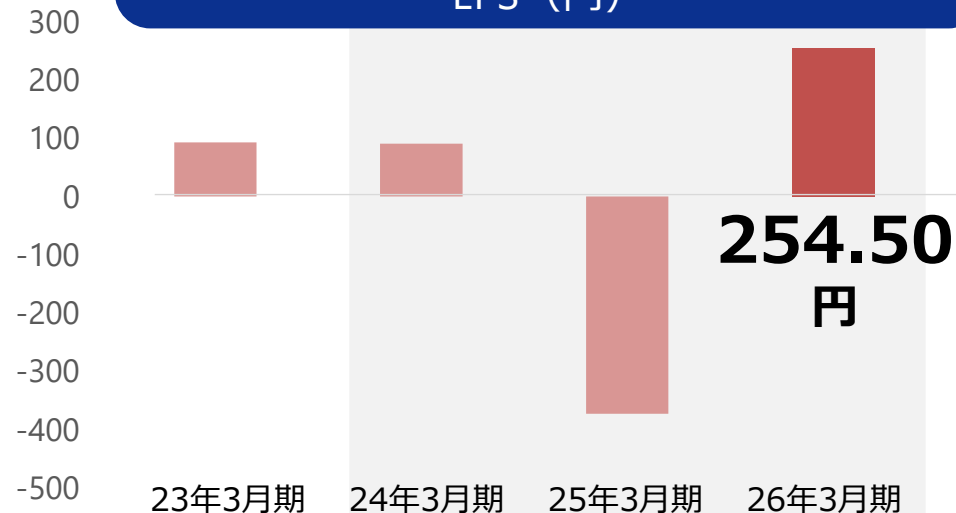


営業利益 (億円) / 営業利益率 (%)



15次中期計画期間

EPS (円)



15次中期計画期間

## 主な活動

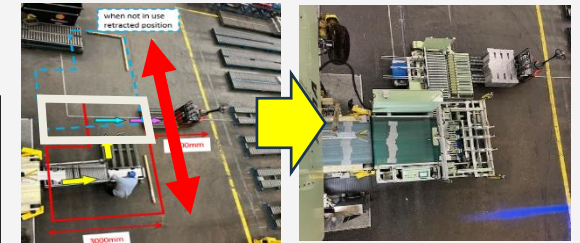
## 実績

稼働力の強化

- ・課題解決のための協議会を運営
- ・自拠点/部門の強みを向上し、課題拠点における各領域へ改善支援（プレス/溶接/塗装/組立）
- ・国境を越えた拠点間での人財交流

- ・エキスパート要員を北米課題拠点へ派遣、改善支援を実施  
（3か年で約100名を派遣、平均 約5億円/年の改善効果）
- ・通期営業利益目標を達成（実績：84億円）
- ・改善支援を通じて、拠点間の人財交流を実施

※換算為替レート  
2025年度：1ドル151.1円



- 働きがいがある職場環境を構築
- ・人的資本強化
- ・女性活躍推進/従業員の幸福度向上を狙うワーキングチームを発足
- ・フレックスタイム制度導入部門の拡大

- ・人財育成課を新設
- ・人財育成ビジョン・方針を設定
- ・ワーキングチーム主導による各種施策を実施  
（職場環境改善/社内制度/社内外役員によるセミナー等の開催）
- ・生産部門へのフレックスタイム制度を導入

# 15次中計(2023/4~2026/3)の主な取り組み ~Back to Basics~

財務体質の健全化

## 主な活動

・14中投資における  
投資回収  
(22年度メキシコ拠点  
へ約1億米ドル投資)

※換算為替レート  
2022年度：1ドル136円  
2025年度：1ドル151.1円

・投資の抑制

・収支モニタリング体制  
の強化

## 実績

25年度メキシコ拠点収益

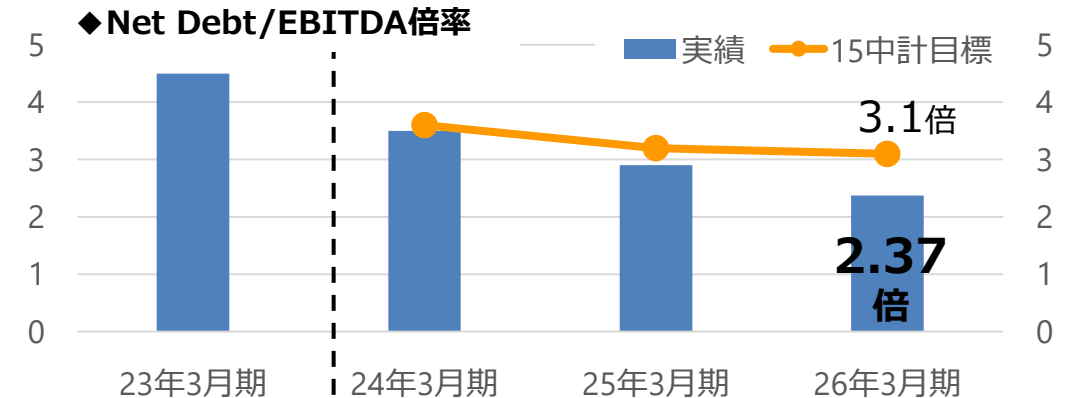
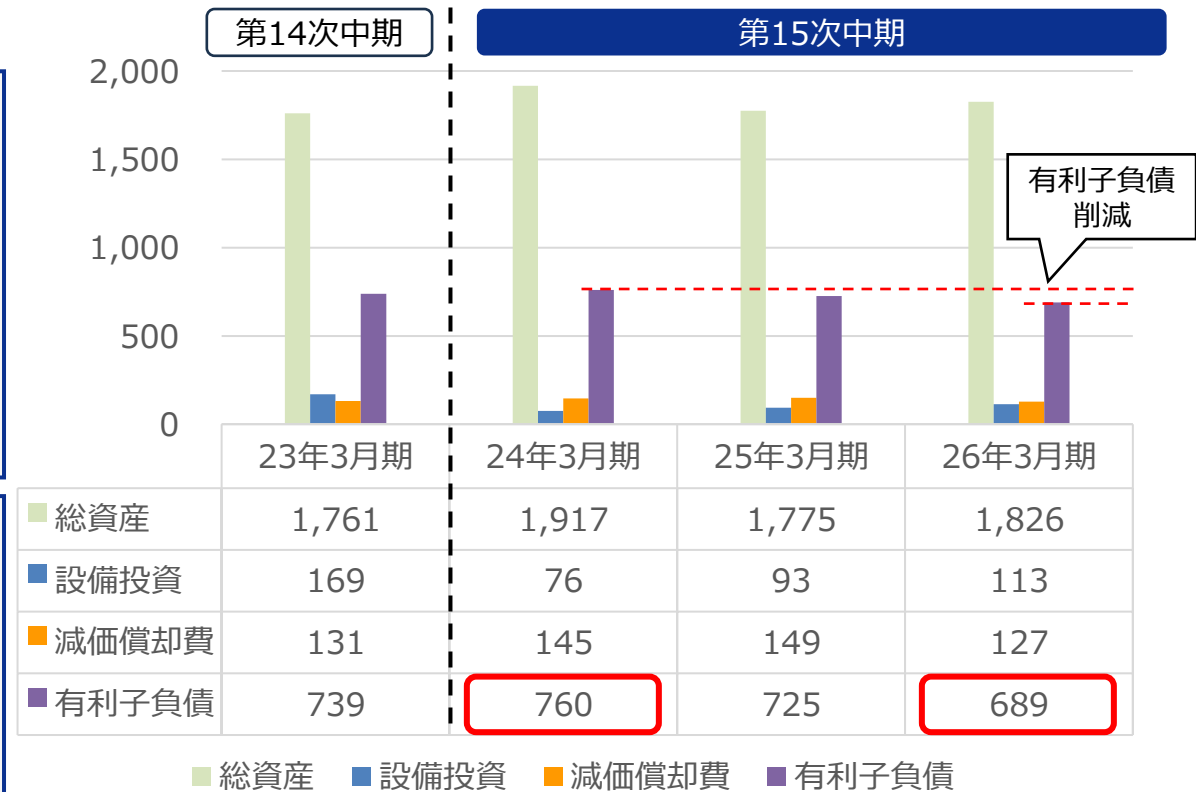
22年度比

・売上高 140億円増  
・営業利益 30億円増

投資額はグループ全体の  
減価償却費以内に抑制  
(76億円~113億円/年)

・営業利益目標達成  
(84億円)  
・Net Debt/EBITDA  
倍率目標達成(2.37倍)

※Net Debt/EBITDA倍率  
= (有利子負債-現預金)  
÷ (営業利益+減価償却費)



## 主な活動

## 実績

- ・お客様のニーズに対応
- ・ローカル自動車メーカーへの受注活動

- ・愛知県安城市へ営業拠点を新設  
(東海・関西エリアでの営業体制を強化、受注拡大を狙う)
- ・中国新規メーカーから2車種、その他国内外からも受注を獲得

- 新分野への挑戦
- ・リパーパスバッテリーを搭載したトレーラーハウスの開発

- ・埼玉県「サーキュラーデザインリーディングモデル構築支援補助金」の認定を受け、開発開始
- ・2026年2月プロトタイプ完成



- ・グローバルR&D連携による開発効率の向上

日系自動車メーカー（3社3車種）の開発領域への先行参入を実現

- ・エフテックオリジナルの溶接部非破壊検査機の開発・導入



アメリカ拠点  
非破壊検査自動化



久喜事業所  
非破壊検査機を試験運用中

新規車種の受注により、320億円程の売上高増加に貢献

※受注時点

日本

22車種

11車種

北米

7車種

15車種

アジア

16車種

21車種

## 主な活動

## 実績

サステナビリティ経営の構築

- ・サステナビリティ推進部の設置
- ・サステナビリティ委員会の設置
- ・マテリアリティの特定
- ・サステナビリティロードマップの策定
- ・統合報告書の発行

マテリアリティ特定とサステナビリティロードマップ

サステナビリティロードマップ

統合報告書

マテリアリティの特定

- ・第三者機関の評価

EcoVadis **BRONZE | Top 35%** 2025年に続き、2年連続 **ブロンズメダル** (世界約15万社中の上位35%以内)

CDP 気候変動 **B評価** 2023年に続き、3年連続

埼玉県 「SDGsパートナー」登録

- ・カーボンニュートラル実現へ向けた推進

- ・三重県亀山市/中国/タイ工場への太陽光パネル設置
- ・工程のエネルギー見える化実施

カーボンニュートラルの実現へ向けた推進

# For A SUSTAINABLE FUTURE

- 未来への挑戦 亀山事業所太陽光プロジェクト -

環境への貢献

年間 **112**万kWh  
のクリーン電力創出

杉の木1万3000本相当の  
CO2削減

“見える化モニター”  
(亀山事業所内に設置中)

## 亀山事業所へ太陽光パネルを設置

# 2025年度の受賞実績

※敬称略

ステークホルダーからの評価向上



**優良品質 感謝状（日本）**  
日産自動車 より  
エフテック（日本地域） 受賞



**34th 年間サプライヤー賞**  
General Motors より  
エフテック（グローバル） 受賞



**搬入・品質優良賞**  
Honda Development and Manufacturing of America より  
F&P MEXICO（メキシコ拠点） 受賞



**品質賞**  
General Motors より  
F&P MEXICO（メキシコ拠点） 受賞



**搬入・品質優良賞、パフォーマンス賞**  
Honda Development and Manufacturing of America より  
F&P（カナダ拠点） 受賞



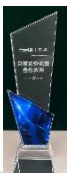
**サービスパーツプラチナ賞**  
General Motors より  
F&P（カナダ拠点） 受賞



**優良品質パフォーマンス賞**  
Toyota Motor North America より  
F&P（カナダ拠点） 受賞



**搬入優良賞**  
Toyota Motor Philippines より  
F-TECH PHILIPPINES（フィリピン拠点） 受賞



**月度優秀品質パートナー賞**  
広州汽車より  
偉福科技工業(中山)（中国拠点） 受賞



**最優秀安全スローガン賞**  
Toyota Suppliers Club より  
F-TECH PHILIPPINES（フィリピン拠点） 受賞



**総合パフォーマンス賞**  
Denso Haryana より  
INDIA STEEL SUMMIT（インド拠点） 受賞



**品質賞**  
Ford Motor Company より  
F-TECH THAILAND（タイ拠点） 受賞



**ベストサプライヤー賞**  
トヨタ紡織インドア より  
INDIA STEEL SUMMIT（インド拠点） 受賞



**優良品質賞**  
Mitsubishi Motors Thailand より  
F-TECH THAILAND（タイ拠点） 受賞

## 1 決算概要

Financial Summary

## 2 業績予想

Earnings Forecast

## 3 15次中計総括

15<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

## 4 16次中計概要

16<sup>th</sup> Mid-Term Business Plan Summary

全社方針

変化への対応力を磨き持続的に企業価値を高める

全社目標

営業利益

当期純利益

※親会社株主に帰属する当期純利益

ROE

Back to Basics

Challenge for New

## 稼ぐ力の向上による財務健全化

1. モノづくりの本質追求
2. 最小投資で最大利益を創出
3. ガバナンス強化
4. 人財マネジメントの確立

## 持続的成長のための基盤づくり

1. 拡販のための営業・開発力強化
2. 新技術の活用・新分野の開拓
3. インドビジネスの拡大
4. CN実現に向けた具体化

- 「営業・開発力の強化」「新技術の活用・新分野の開拓」を推進  
事業領域の枠に捉われない、全方位でのビジネス獲得を目指す



- 製品溶接部の非破壊検査機を自社開発  
本技術をブラッシュアップし、グループ内での展開拡大を図る

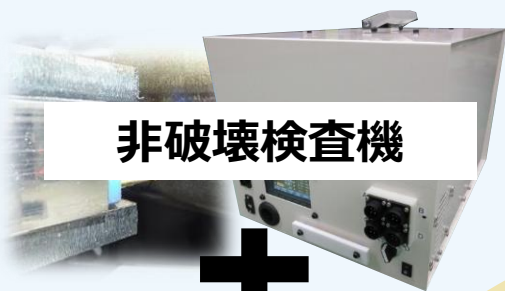
基礎研究

試作機導入

全自動システム化

グループ内展開

自社開発  
非破壊検査機



非破壊検査機



判定ソフト内製

Lot	QRCode12345	Type	Scheduled
Inspector	Mr.Takagi	Shift	Normal
Product	RUCA-L	Temp	75.2 °F
Program is running	PAUSE	Tool	TargetBead
B	2		

OK

NG

アメリカ拠点での  
非破壊検査運用



アメリカ拠点での  
ロボットによる  
非破壊検査自動化



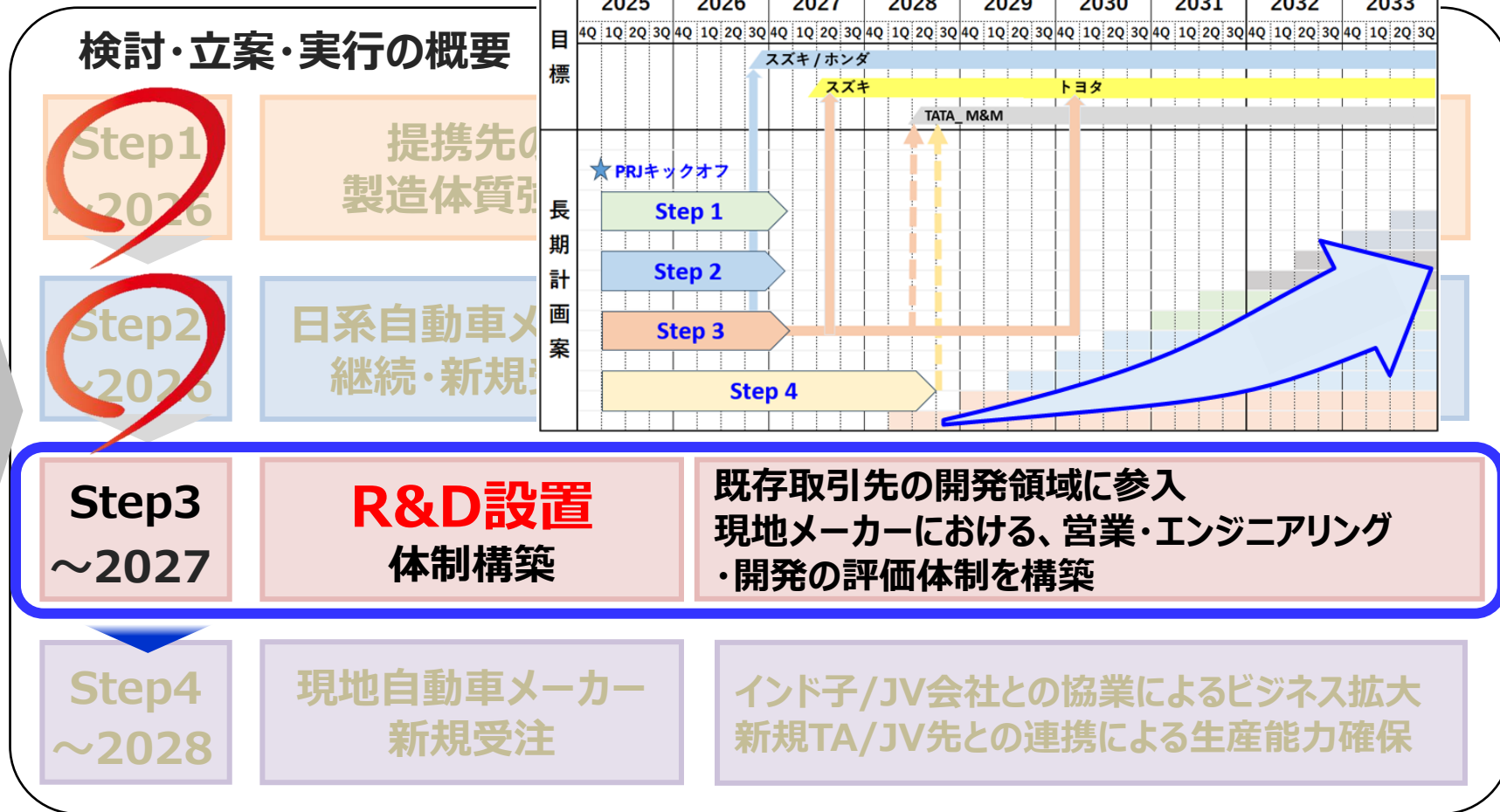
米系メーカー向け  
生産にて導入済み

久喜事業所での  
非破壊検査機を  
試験運用中



日系メーカー向け生産にて  
試験運用中

- インドビジネス戦略の推進を目的に、部門横断チームを設置  
インド開発拠点の設立に向けて始動



**Step3 ~2027**

**R&D設置体制構築**

既存取引先の開発領域に参入  
現地メーカーにおける、営業・エンジニアリング・開発の評価体制を構築

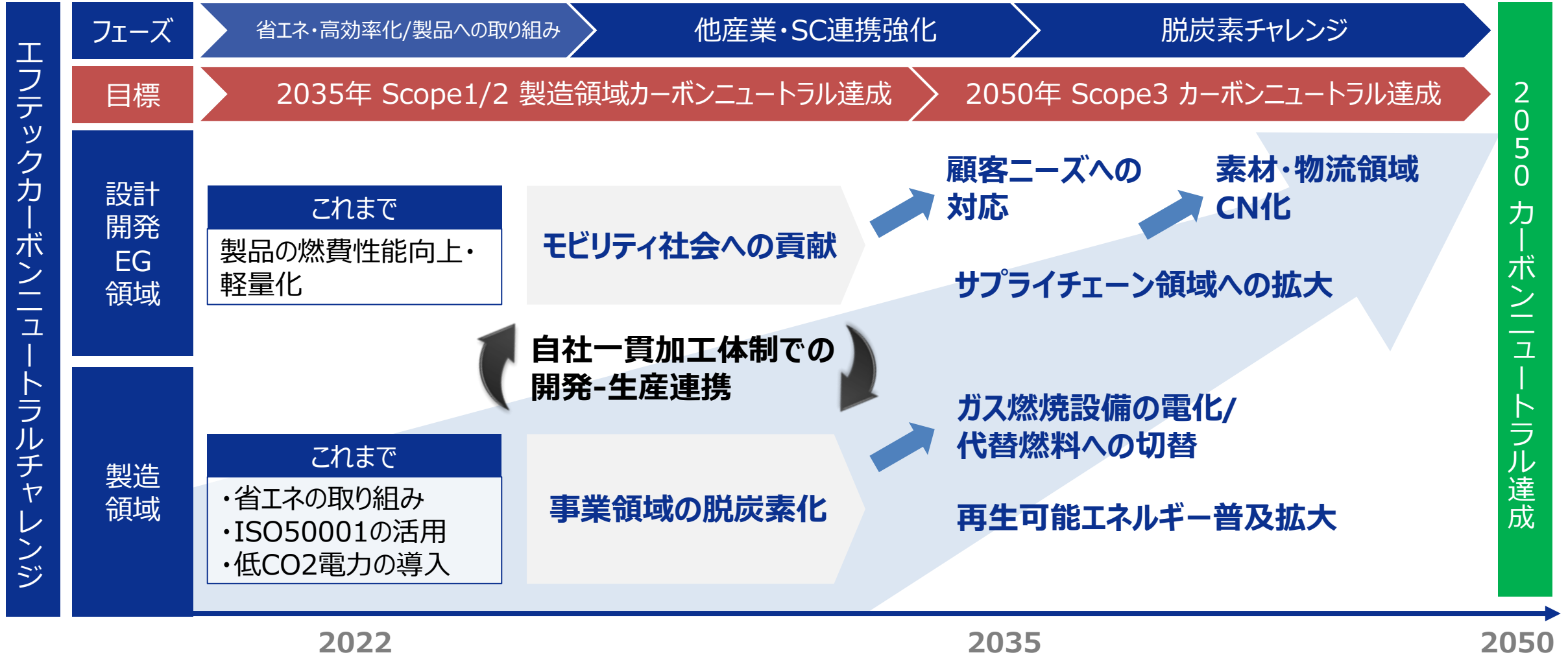
**Step4 ~2028**

現地自動車メーカー  
新規受注

インド子/JV会社との協業によるビジネス拡大  
新規TA/JV先との連携による生産能力確保

- 「エフテックカーボンニュートラルチャレンジ」に従い、カーボンニュートラルの実現に向けて推進

※CN：カーボンニュートラル



# 従業員の幸福度向上を目指す「ウェルビーイング」 中長期ロードマップ

	基盤整備期	制度構築期	文化醸成期	定着・拡張期	成果・統合期
年度	2025-2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
内容	現状調査▶課題抽出▶施策立案/実施 ・従業員アンケート(満足度/課題/ニーズ) ・他社交流/情報収集	柔軟勤務制度 健康支援制度 キャリア支援	心理的安全性 対話文化 交流イベント	ウェルビーイング 文化の定着 地域連携活動	<b>Being Happy!</b> 実現
ウェルビーイング定義の社内共有▶フィロソフィーの社内浸透▶フィロソフィーの価値観を実感					
施策	女性活躍推進 スキルUP/キャリア形成研修 適正な評価制度運用 業務量の適正化 作業環境の改善 コミュニケーション活性化				
対象	国内基盤の強化 ▶ 国内横展開・モデル化 ▶ 海外展開着手 ▶ 海外拠点展開				

**エフテックフィロソフィーを社内浸透し、  
その価値観を体現し実感できる状態が、当社のウェルビーイング定義としています**

※ウェルビーイングとは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念（引用：厚生労働省「雇用政策研究会報告書 概要」）  
 ※エフテックフィロソフィーとは、エフテックグループの在り方や行動、意思決定の基本となる「社是・理念・サステナビリティ基本方針」の総称

ご清聴ありがとうございました

Thank you for your attention!



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

The future outlook and earnings forecasts in this document are made based on the information available at the moment, and they include potential risks and uncertainties.

As a result, please bear in mind that actual business performance may substantially differ from the stated future forecasts due to changes in various factors.

「エフテック」で検索

<https://www.fttech.co.jp>

IR情報のお問い合わせ、取材お申し込みは

For inquiries on IR information, please contact:

株式会社エフテック 管理本部 総務部/経理部

F-TECH INC. Management Planning Division General Affairs Department/Finance and Accounting Department

代表TEL 0480-85-5211

Mail [webmaster@fttech.co.jp](mailto:webmaster@fttech.co.jp)



# Appendix

# Appendix ～連結貸借対照表（2026年3月期末実績）～

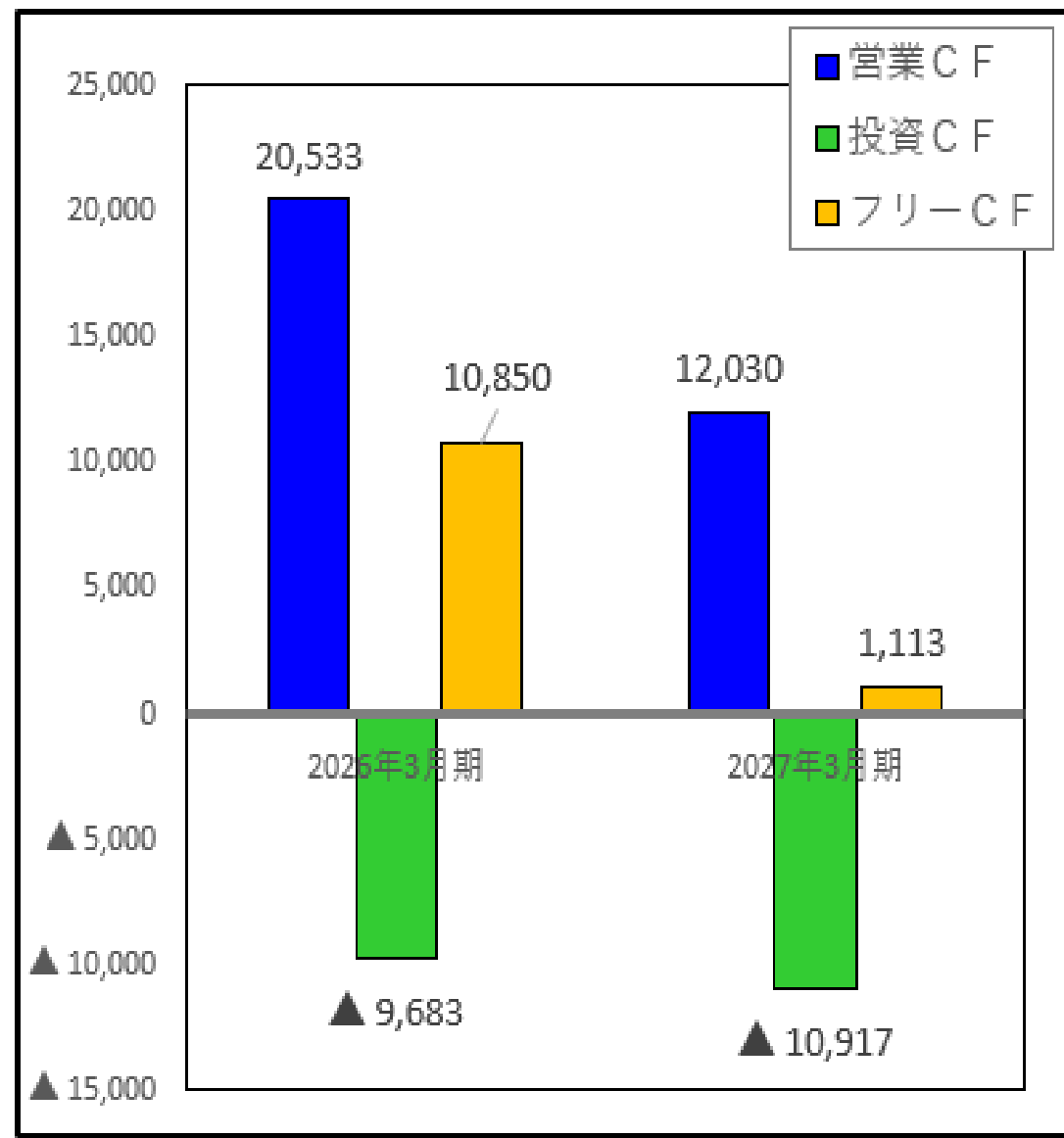
	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減
現金及び預金	18,726	15,000	▲ 3,726
受取手形・売掛金	34,825	38,008	3,183
棚卸資産	27,523	27,153	▲ 370
その他	3,020	3,020	0
<b>流動資産</b>	<b>84,094</b>	<b>83,181</b>	<b>▲ 913</b>
有形固定資産	81,465	79,243	▲ 2,222
無形固定資産	681	681	0
投資その他資産	16,396	16,396	0
<b>固定資産</b>	<b>98,542</b>	<b>96,321</b>	<b>▲ 2,221</b>
<b>総資産</b>	<b>182,636</b>	<b>179,502</b>	<b>▲ 3,135</b>

NET DEBT	50,229	51,229	1,001
EBITDA	21,196	15,786	▲ 5,410
NET DEBT/EBITDA倍率	2.37	3.25	0.88

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減
支払手形・買掛金	25,443	27,447	2,004
短期借入金	28,656	31,054	2,398
1年以内長期借入金	12,242	9,857	▲ 2,385
その他	13,804	13,710	▲ 94
<b>流動負債</b>	<b>80,145</b>	<b>82,068</b>	<b>1,923</b>
長期借入金	22,861	20,280	▲ 2,581
その他	7,943	7,785	▲ 158
<b>固定負債</b>	<b>30,803</b>	<b>28,064</b>	<b>▲ 2,739</b>
<b>負債合計</b>	<b>110,948</b>	<b>110,132</b>	<b>▲ 816</b>
株主資本合計	39,483	40,283	800
その他包括利益累計	18,645	15,633	▲ 3,011
非支配株主持分	13,560	13,453	▲ 107
<b>純資産合計</b>	<b>71,688</b>	<b>69,369</b>	<b>▲ 2,318</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>182,636</b>	<b>179,502</b>	<b>▲ 3,134</b>

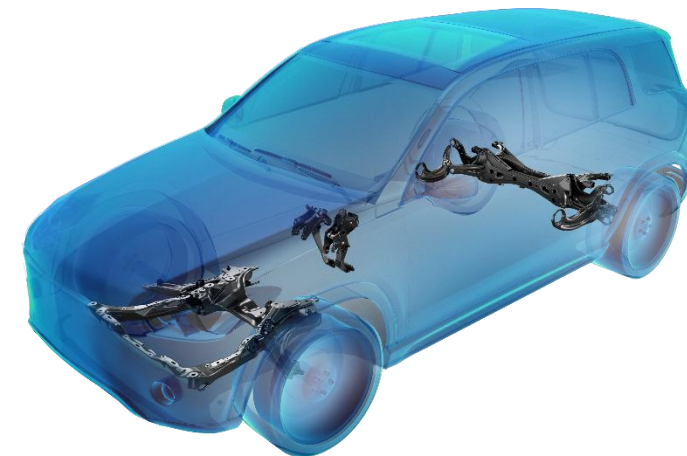
# Appendix ～連結キャッシュフロー表（2026年3月期末実績）～

	2026年3月期	2027年3月期	増減
	実績	予想	
営業活動キャッシュフロー	20,533	12,030	▲ 8,503
投資活動キャッシュフロー	▲ 9,683	▲ 10,917	▲ 1,234
財務活動キャッシュフロー	▲ 6,943	▲ 4,083	2,860
現金及び現金同等物に係わる為替差額	457	▲ 651	▲ 1,108
現金及び現金同等物の増減額	4,363	▲ 3,620	▲ 7,983
現金及び現金同等物の期首残高	14,256	18,620	4,365
現金及び現金同等物の期末残高	18,620	15,000	▲ 3,620



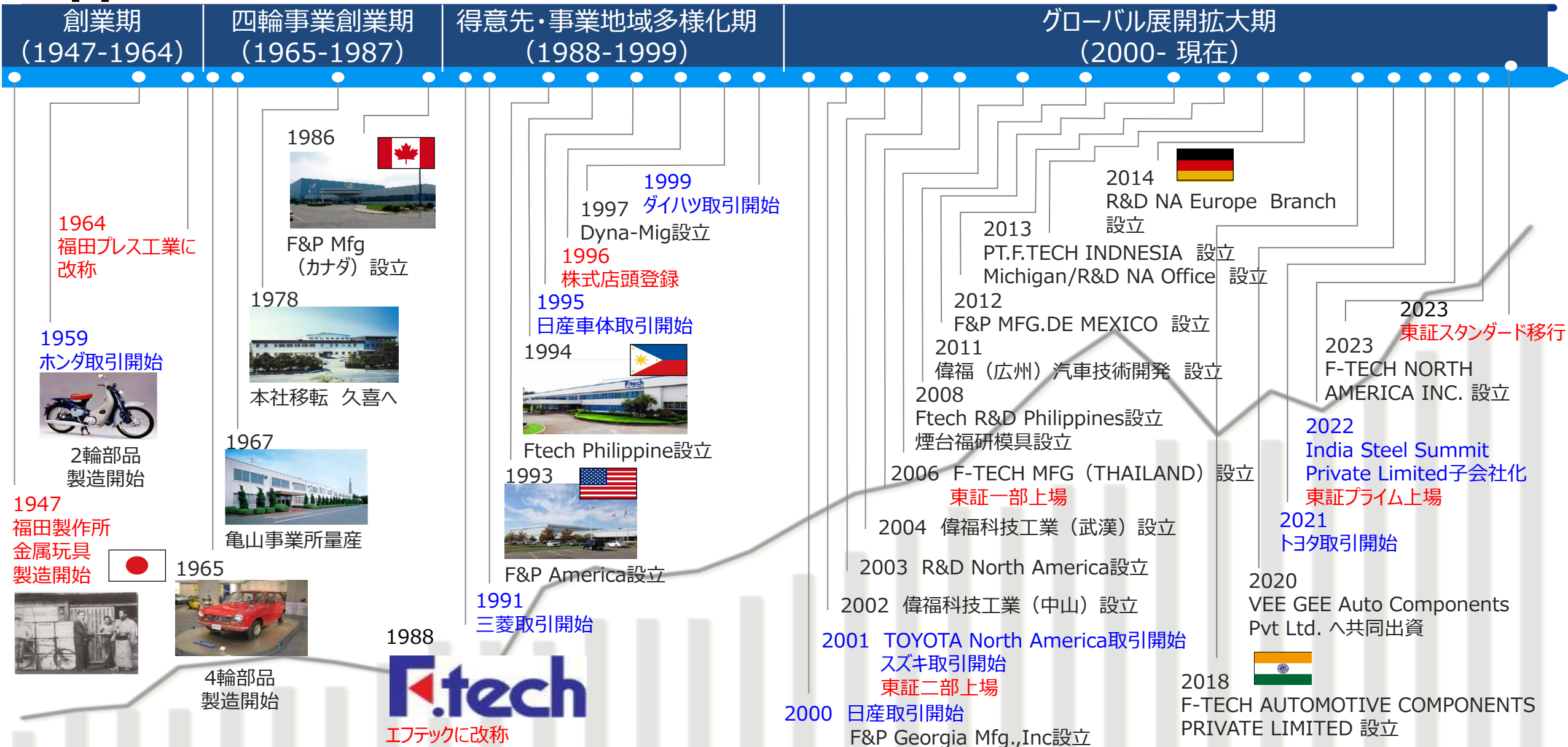
# Appendix ~会社概要~

会社名	株式会社エフテック
市場区分	東証スタンダード（7212）
資本金	67.9億円
代表者名	代表取締役社長 福田 祐一
売上高（連結）	2,918億円（2026年3月期）
従業員数（連結）	8,961人（単体：971人） <small>※単体：国内エフテックのみ（子会社、海外駐在員含まず）</small>
設立年月日	1947年7月1日
本社所在地	〒346-0194 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズ社、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、etc.
主要製品	自動車向け足廻りサスペンションアーム、サブフレーム、アクスルビーム、ペダルコントロール等



2026年3月末現在

# Appendix ~沿革~

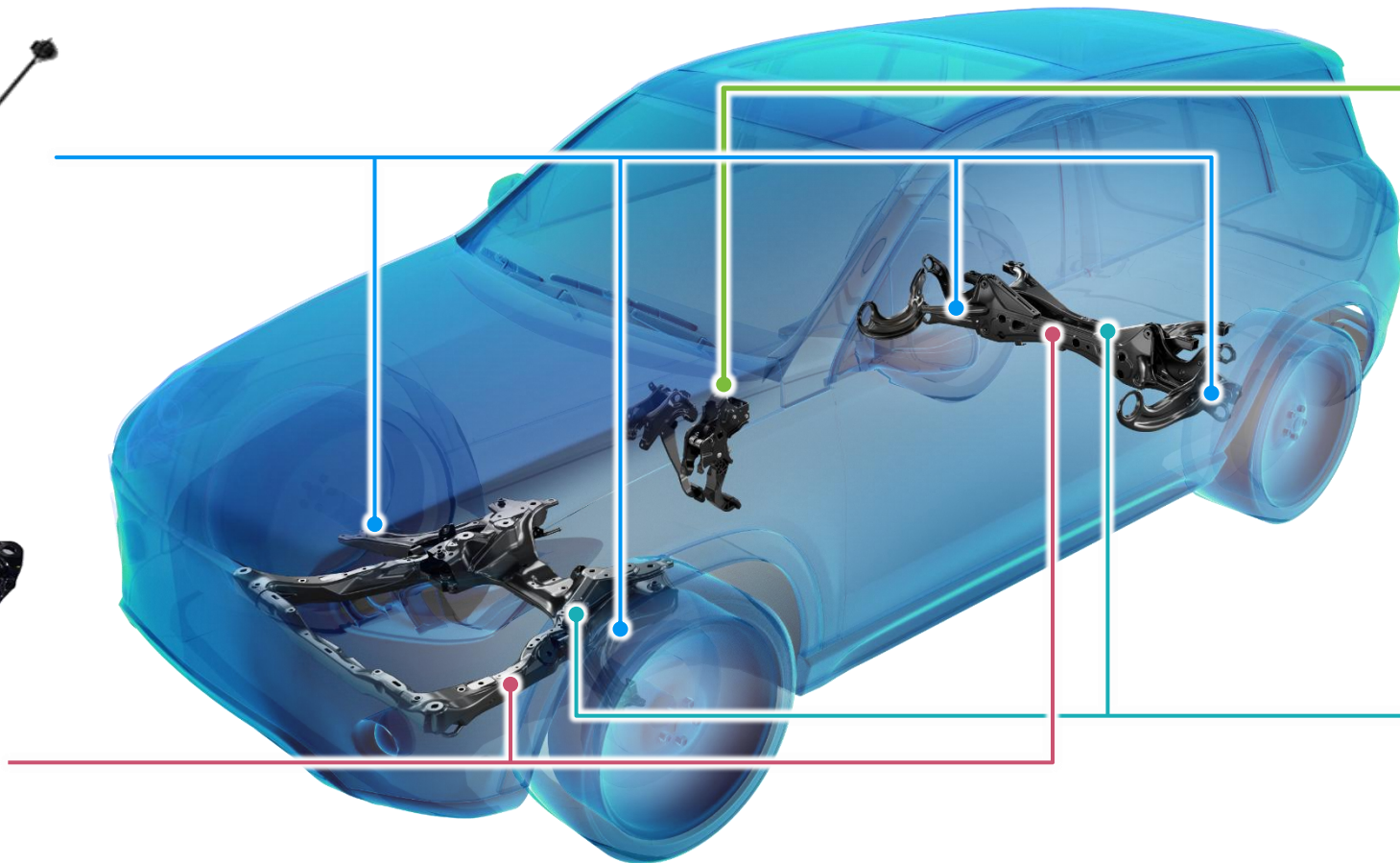




サスペンション  
部品



マウント部品



コントロール部品



当社の製品は、「走る」・「曲がる」・「止まる」の基本機能を司る、重要保安部品であり、より高い操縦安定性や乗り心地、衝突時の安全性を考慮した最適仕様を提案します

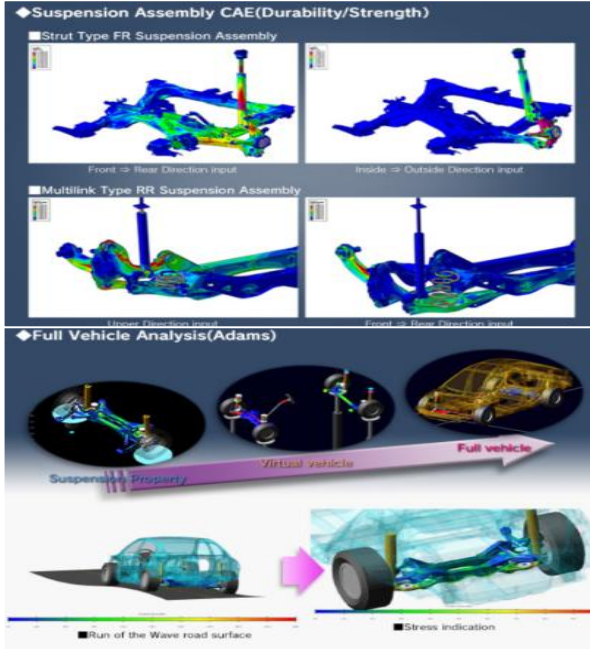
製品開発

塑性成形

接合

塗装

組立



製品の企画開発から量産まで、全工程を独自の一貫加工体制で対応、  
圧倒的に競争力の高い製品をスピーディーに提供

- 【国内事業所】

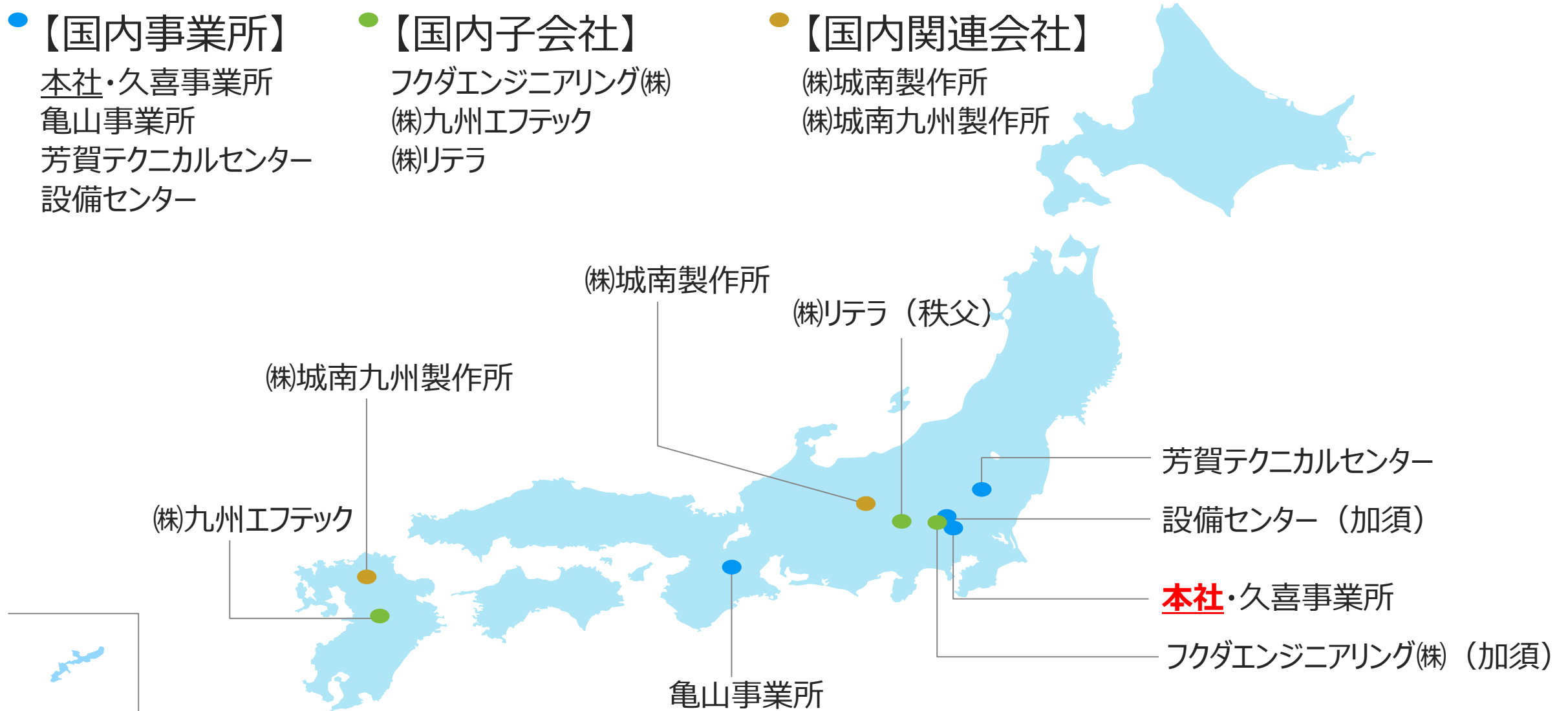
本社・久喜事業所  
亀山事業所  
芳賀テクニカルセンター  
設備センター

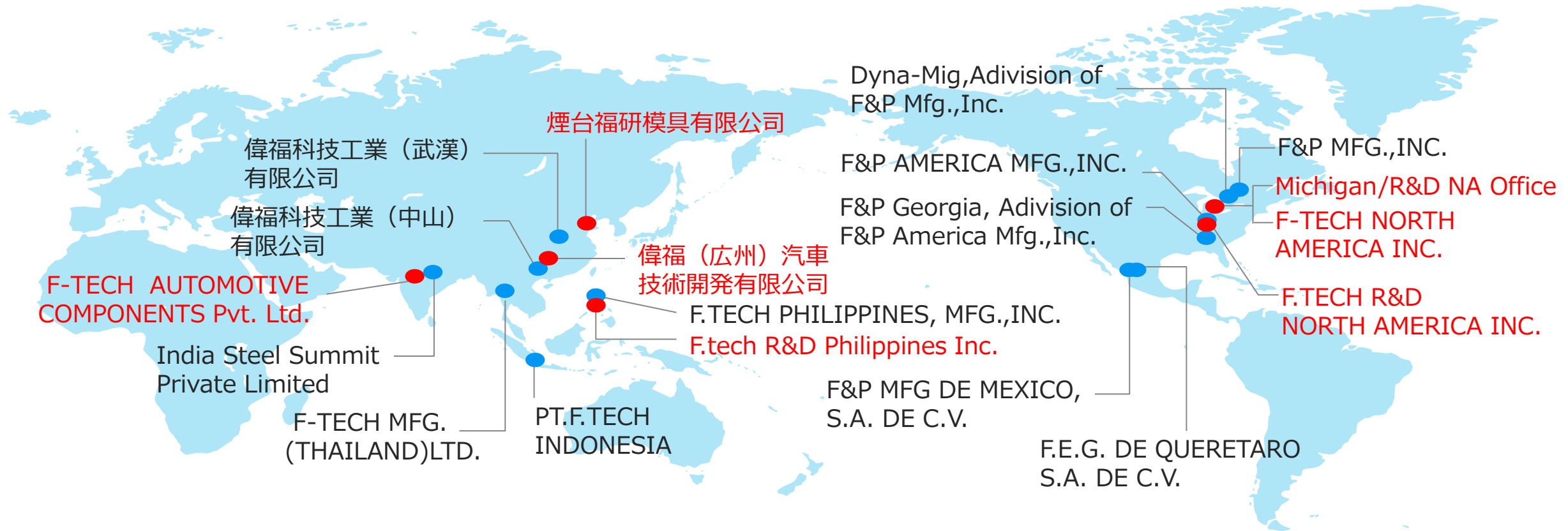
- 【国内子会社】

フクダエンジニアリング(株)  
(株)九州エフテック  
(株)リテラ

- 【国内関連会社】

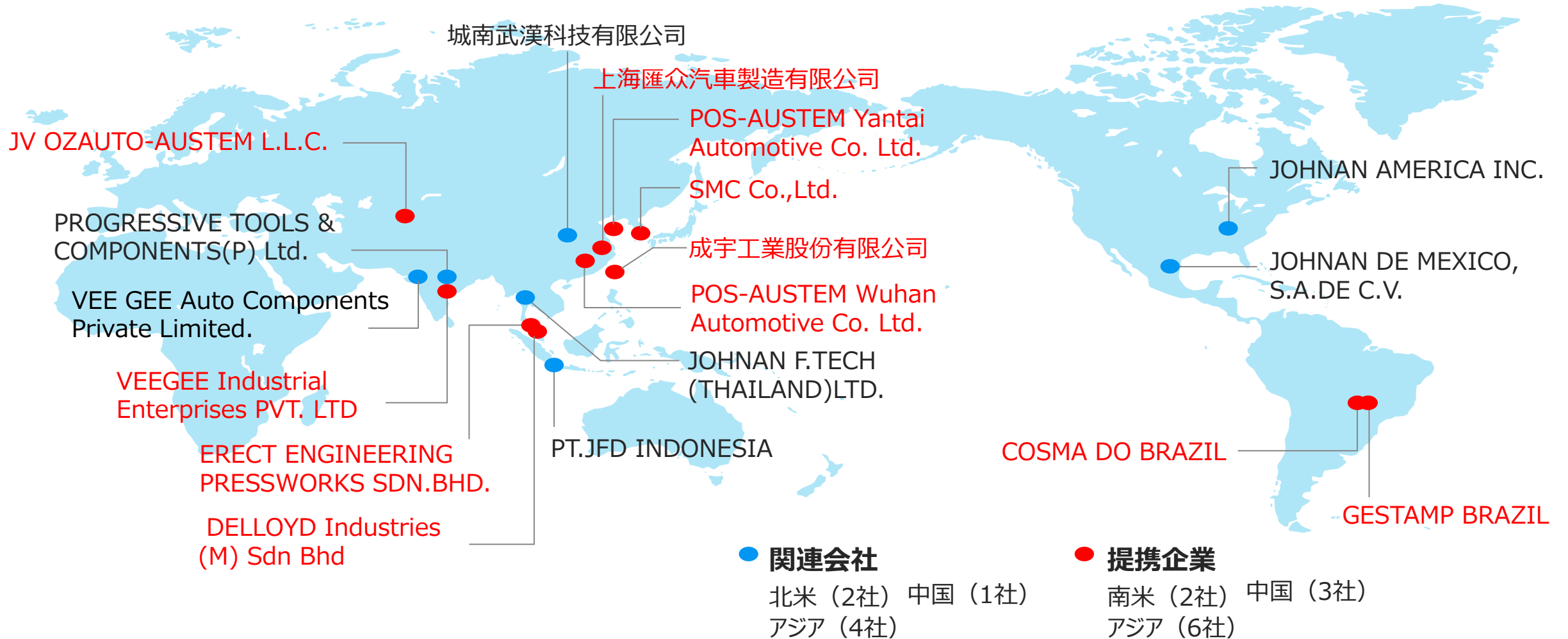
(株)城南製作所  
(株)城南九州製作所





- **生産拠点**
  - 北米 (6工場)
  - 中国 (2工場)
  - アジア (4工場)
- **研究・技術開発・営業拠点**
  - 北米 (3拠点)
  - 中国 (2拠点)
  - アジア (2拠点)

## 世界8カ国12生産拠点、7研究・技術開発・営業拠点を展開



世界6カ国・1地域での提携関係により、当社製品の世界供給体制を構築